

Profile

栄養専攻教授。1975年北里大学卒（獣医学科）。群馬県庁。1977年群馬大学内分泌研究所。1978年群馬県衛生公害研究所。1986年医学博士（群馬大学）。1984～1999年群馬県前橋保健所・伊勢崎保健所、中央食肉衛生検査所。2000年群馬県衛生環境研究所。2003年群馬県食品安全検査センター。2005年日本獣医公衆衛生学会評議員・座長。群馬県立女子大学非常勤講師。2007年群馬県食品安全検査センター所長。2010年群馬県衛生食品課長。2011年群馬県食品安全局長。全国食品安全自治ネットワーク議長。2012年4月より現職。イオンリテール(株)衛生顧問。2015年食品衛生管理者登録講習会講師。2016年群馬県動物愛護普及啓発検討委員会委員。2018年桐生大学・短期大学非常勤講師。



学生へメッセージ

ヒトは生きていくために、毎日、食品から栄養を摂取しなければなりません。食品は我々の体の構成成分やエネルギー源となりますが、健康を維持していくためには第一に安全であることが重要です。

食品衛生学講義では、栄養士として知らなければならない食品の衛生に関係する法律、食品を原因とする中毒や事故、さらに、それらを未然に防止するための安全対策等について学修していきましょう。また、食品中の有害成分の分析、食品添加物、細菌、真菌、寄生虫等について、講義で学修した内容を食品衛生学実験をとおして理解を深めていきたいと思えます。

さらに、生化学講義では摂取する食品中の栄養素が体の中でどのように変化し、利用されていくのか、また、生体の恒常性がどのようにして維持されているのか、遺伝子はどのように発現するのかなど、我々の体の中で起こっている基本的な事象を学んでいきます。そして、生化学実験では生化学講義の内容をしっかりと理解するため科学的な観点から学修していきます。